

2023 年度 事業報告

<総務本部>

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 2023 年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
4. 11 月に次年度正会員登録手続きについて代表者にご案内しました。
5. 総会、理事会及び定例会議等の会議を開催し、報告書を作成しました。
6. 会員に対する保険等の対応を行いました。
7. 議案等を作成し、各会議へ提案しました。
8. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図りました。
9. 個人情報の適正な管理を行いました。
10. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行いました。
11. 大会の開催に関し、多くの人に知ってもらう為にスポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
12. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討しました。
13. 社会貢献活動として、NSA サーファーズビーチクリーン ACT 2023 (全国一斉ビーチクリーン)を実施し、事前にゴミ袋等を配布しました。
日時 2023 年 9 月 3 日 (日) または 10 日 (日)
場所 全国の海岸 60 ヶ所以上
14. UMI 協議会及びボートショー(2023)等に参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信しました。
15. 各種助成団体の調査及び加盟を図りました。
16. 公認会計士による監査の強化を実施しました。
17. スポーツ団体ガバナンスコード規定に準じた組織運営作りを目指しました。
18. 公益財団法人日本オリンピック委員会にスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉を自己説明しホームページにて公表しました。
19. 2023 年度中の公益社団法人化を目指しました。

【普及開発委員会】

1. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、支部長意見交換会等を実施しました。
2. 全日本サーフィン選手権大会の開催時に全国支部長会議を開催しました。
3. 公的サーフィンスクール(市、教育委員会など)にテキスト、保険提供などを支援しました。
4. サーフィン専門誌及び NSA オフィシャルサイトなどを活用し、公認指導員の公認スクール開催のバックアップ及びスクールの拡充を図りました。
5. サーフィン愛好者拡大を目指し、都道府県体育協会への加盟にあたっての助言、指導、助成を行いました。

【コンプライアンス委員会】

1. 倫理規程を改定し、倫理に関するガイドラインを見直しました。
2. 会員及び役員へコンプライアンスの徹底推進を実施しました。
3. サーフィン界のコンプライアンスの啓発活動を実施しました。
4. YEARBOOK にコンプライアンスについて掲載し、周知を図りました。

<強化本部>

【国際委員会】（ISA コーチング・ジャッジ資格管理）

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、告知しました。
2. 本連盟が関連する国際大会・事業等の企画運営をしました。
3. ISA との連携を深め、情報交換を実施しました。
4. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
5. オリンピックに関する大会でのサーフィン競技の継続的な実施へ向けて働きかけをしました。
6. 国際機関と連携しサーフィンの普及発展に努めました。
7. アジア地域のリーダー国としてサーフィンの地域発展を進めました。
8. 公益財団法人日本オリンピック委員会等の事業連携や会議へ出席しました。
9. アンチドーピング医科学委員会と連携し、WADA 及び JADA の定めるアンチドーピングを進めました。
10. スポーツ関係機関との連携を図りました。
11. 国際スポーツ界で活躍する人材を育成しました。

【強化委員会】（波乗りジャパン、SUP、パラサーフィン等）

1. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成・強化を進めました。
2. 世界レベルのコーチの育成をしました。
3. 強化指定選手制度を設け、ISA 大会にて優秀な成績を収めた強化指定選手(プロアマ問わず)に報奨金を支払いました。
4. 強化指定選手には、国際大会の選手参加費のサポート、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。
5. 国際大会への派遣選手の選考及び派遣役員を選出しました。
6. JOC との連携により、国際大会で勝利できる選手育成を実施しました。
7. 強化戦略プランを作成し、計画に基づきジュニア選手の育成を実施しました。
8. 強化指定選手を対象とした強化合宿を実施するとともに、管理をしました。
 - ・ 冬季ジュニア強化合宿（ナショナルトレーニングセンター・サーフィン競技強化拠点）
 - ・ 新強化指定選手強化合宿（3月）
9. 世界選手権大会の選手派遣選考合宿（12月22日～12月23日）を開催をしました。
10. 以下の国際大会等へ選手を派遣しました。
 - ・ 2023 ISA WORLD LONGBOARD SURFING CHAMPIONSHIP 5月7日～5月13日 エルサルバドル
 - ・ 2023 ISA WORLD SURFING GAMES 5月30日～6月7日 エルサルバドル

- ・ 2023 ISA WORLD SUP AND PADDLEBOARD CHAMPIONSHIP 9月24日～10月1日 プエルトリコ
- ・ ANOC World Beach Games2023 8月6日～12日 インドネシア (中止)
- ・ 2023 ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP 11月5日～11月11日 アメリカ カルフォルニア
- ・ 2023 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP 11月24日～12月3日 ブラジル・リオデジャネイロ

【アスリート委員会】

1. アスリートからの意見を集約し、事業や強化活動へ反映させました。
2. アスリートの環境整備を提案しました。
3. アスリートの課題を集約し、解決に向けた提案をしました。

【アンチドーピング医科学委員会】

1. アンチドーピング活動を徹底するとともに周知活動を実施しました。
2. ドーピング検査を導入しました。
3. サーフィンに関する医学的な調査研究を実施しました。
4. 強化選手等を対象に専門的な知識の理解を深める活動を実施しました。

<事業本部>

【事業委員会】

1. オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行いました。
2. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルパートナーに報告しました。
3. 大会役員、関係者、公認ジャッジにスタッフアウターを販売しました。
4. NSA ネットショップ(ALOHA STORE)にて、NSA 関連商品を販売しました。
5. 環境省リサイクル推進室「プラスチック・スマートキャンペーン」海洋プラスチックごみを無くす取り組みを企画委員会と協力し、実施しました。
6. 主催大会会場にて、NSA 関連商品を販売しました。
7. 主催大会参加賞 TEE シャツや役員帽子の作成をしました。
8. 収益事業の提案をしました。

【企画委員会】

1. 事業、広報委員会と連携しサーフィンに対する周知を図りました。
2. 主催サーフィンスクール及びプールスクールを行政及び学校と連携し開催しました。
3. 新規事業の提案をしました。

【広報委員会】

1. 「YEARBOOK」を2023年6月中に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、支部長へ郵送しました。
2. 全日本選手権・全日本級別選手権・ジュニアオープン・マスターズオープン等の大会プログラムと大会ポスター(地域等限定)を作成し配布しました。

3. NSA オフィシャルサイトで、最新情報を広く配信しました。
4. NSA オフィシャル SNS（主にインスタグラム）においてファン獲得に向け配信活動をしました。
5. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップしました。
6. 協力店等に「ルール&マナーブック」を無料配布しました。
7. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会に無料配布しました。
8. 春のインタースタイルにブースを出展しました。
9. 第 31 回ジュニアオープンサーフィン選手権大会、第 40 回全日本級別サーフィン選手権大会にてライブ中継を行いました。（2024 年度は大会開催委員会へ事業を移管します。）
10. 各主催大会のライブ配信において CM 協賛の募集活動を行いました。
11. 主催大会やイヤーズブック等印刷物の予算獲得に向け、日本スポーツ振興センターへの申請及び報告業務を行いました。

<競技本部>

【大会開催委員会】

1. 第 31 回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2023)を開催しました。
開催場所：高知県 東洋町 生見サーフィンビーチ
開催日：2023 年 4 月 15 日(土)～16 日(日)
2. 第 40 回全日本級別サーフィン選手権大会(2023)を開催しました。
開催場所：福島県 いわき市 四倉海岸
開催日：2023 年 6 月 21 日(水)～24 日(土)予備日 25 日(日)
延期日：2023 年 6 月 29 日(木)～7 月 2 日(日)予備日 3 日(月)
3. 第 57 回全日本サーフィン選手権大会(2023) を開催しました。
開催場所：宮崎県 宮崎市 木崎浜海岸
開催日：2023 年 9 月 30 日(土)～10 月 6 日(金)
4. 第 19 回マスターズオープンサーフィン選手権(2023)を開催しました。
開催場所：千葉県 白子町 剃金海岸
開催日：2023 年 9 月 1 日(金)～9 月 3 日(日)
5. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
6. ポイントランキング制度を改定しました。
7. 公認大会の改定及び運営管理を行いました。
8. 公認大会のエントリー及びその他詳細について NSA オフィシャルサイトに掲載しました。
9. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。

【ジャッジ委員会】

1. 公認大会にジャッジ派遣の要請があった場合に派遣を行いました。
2. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
3. 国際大会に準じて改定した競技ルールを施行しました。
4. 主催大会において、プライオリティルールを施行しました。
5. 主催大会においてジャッジシステム（リフレッシュ）を使用しました。

6. 公認ジャッジ講習会に教育委員会より講師の依頼があった場合に派遣を行ないました。
7. サーフィン検定にも、マスタージャッジの派遣の要請があった場合、派遣を行ない全国での見解を統一しました。
8. NSA OFFICIAL JUDGE GUIDE BOOK を作成検討しました。
9. 教育委員会と連携し、主催大会においてジャッジトレーニングを開催しました。
10. ジャッジスキル向上のため、ISA および JPSA 選出したジャッジを派遣予定です。
11. プライオリティパネルの LED 化を検討しましたが実装を見送ることとしました。

<教育本部>

【教育委員会】(ジャッジテスト、ジャッジ講習会、サーフィン検定、スクール審査員)

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理・調整を行い、一般の方々を含めた受験者を募集いたしました。
 - ①検定基準の統一を目的に必要なに応じてマスタージャッジの派遣手配を検討しました。
 - ②検定を通して開催地域の A 級ジャッジからマスタージャッジを採用し、地域のジャッジ活動を促進しました。
2. 秋季公認ジャッジ講習会を開催しました。
3. 秋季公認ジャッジ試験を開催しました。
4. 支部主催の公認ジャッジ講習会へ講師の派遣を検討しました。
5. 春季公認ジャッジ講習会オンデマンド(試験なし)を開催しました。
6. 2024 年度版ジャッジテキストの改定を行いました。
7. スクール審査員講習会オンデマンド(試験なし)を開催しました。

※ 1. 2. 3. 4. 5. 6 の事業はジャッジ委員会と連携して行いました。

【安全対策委員会】(公認指導委員、海洋レジャー安全指導員講習)

1. サーフィンに関する安全普及活動を実施しました。
2. 主催大会、公認大会等の安全管理を徹底しました。
3. サーフィン環境の保全、改善による安全対策を計画し実施しました。
4. 海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会・(一社)ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員講習会を実施し、全国に指導員を配置しました。
5. 公認指導委員資格講習会をオンデマンドにて開催しました。

日程 : 2023 年 3 月 1 日(水)~7 日(火)
6. 公認指導員資格実技・試験を実施しました。

日程 : 2023 年 3 月 12 日(日)

会場 : (一財)日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室 (横浜)
7. 主催大会会場での救急救命訓練・講習会の実施を検討しました。
8. (一社)ウォーターリスクマネジメント協会に要請し、全主催大会での会場パトロール業務を行いました。